



田中桂子(たなか・けいこ) 緩和医療科医長

「からだ」と「こころ」をケア

本講座では、がんの緩和医療をめぐる「緩和ケアとは？」「症状緩和の実際」「緩和ケアの場」「緩和ケアを上手に受けるために」の四つのテーマに分けて話を進めます。

緩和ケアとは？

緩和ケアとは、二〇〇二年にWHO(世界保健機構)で新しく定義されました。それは「生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より、身体的・心理的・社会的・スピリチュアル(霊的な・魂の)な問題に関してきちんとした評価を行い、それが障害とならないように予防

大切な双方向のやり取り

「相談する」という主体的行動は「問題を解決したい」とか「事態を良い方向へ向けたい」という前向きな意思の表れでもあります。しかし、やみくもに誰にでも、何でも相談すればよいというものでもありません。いろいろな意見やアドバイスを聞きすぎて混乱したり、自分の考えがまとまらなくなったりしてしまうこともあります。

状況に応じ「誰に」「どのような手段で」「何を」「相談し」「どのように解決する」かについて話を進めます。

「誰に」相談するか… 大変大事な選択です。相談する相手は大きく分けて、家族や身

差し伸べてくれるでしょう。後者は、共感しつつも客観的



高田由香(たかだ・ゆか) 疾病管理センター よろず相談 社会福祉士

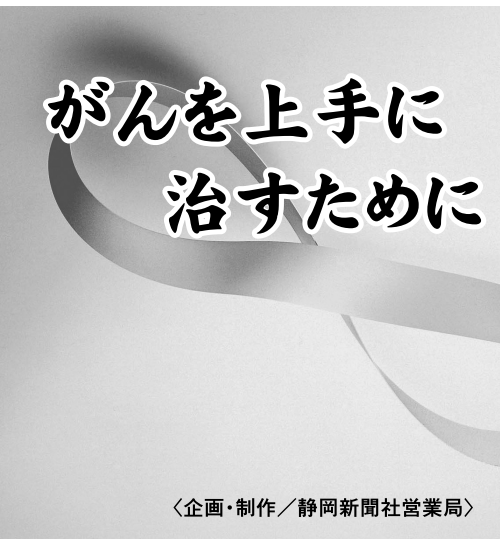
がん緩和ケアの現状

緩和ケアを上手に受けるために

「生活の質・生命の質」を改善することである」という

「生活の質・生命の質」を改善することである」という

「生活の質・生命の質」を改善することである」という



がんを上手に治すために

企画・制作/静岡新聞社営業局

がん治療についての最新情報を多角的に学ぶ 県立静岡がんセンター公開講座「がんを上手に治すために」(静岡新聞社・静岡放送、三島市民文化会館主催、同センター共催、スルガ銀行特別協賛、伊豆長岡温泉弘法の湯協賛)の第六回講座が、先月十八日、三島市の三島市民文化会館で開かれました。同センター緩和医療科医長の田中桂子氏が「がん緩和ケアの現状」緩和ケアを上手に受けるために」、疾病管理センターよろず相談 社会福祉士の高田由香氏が「がんよろず相談の実際」をテーマに講演しました。その概要を紹介しましょう。

対象にしている点▽病気が進行してからではなく、病気の早期の段階から必要に応じて利用されるべき医療・ケアである点▽からだだけではなく、「こころ」やその他さまざまな「つらさ」に対して多角的・総合的にアプローチして、「その人らしく生活していくこと」を援助していく医療・ケアである点です。

症状緩和の実際

【例】Aさん(60歳代、男性) 肺がん、腰椎転移の診断。一回目の抗がん剤点滴治療が終了し在宅療養中。「痛くて、夜も眠れない!仕事も休んで、夜もお金のこと、これからのことも心配でたまらないが、何もする気がしない。死んだ方がまし!」と言うため、妻も不安でたまりませ

緩和する他の治療を検討し、生活動作の練習などのリハビリテーションや、腰を保護するコルセットの装着、生活環境の整備などをしていきます

緩和ケアの場

緩和ケアを受ける場合は、地域や施設によって状況は異なりますが、当センターでは次の四つを緩和ケアの場として認めています。

緩和医療科医長 田中桂子氏

このように、痛みは、身体線治療の副作用として吐き気、口内炎の痛み、皮膚炎、脱毛、倦怠感、気分の落ち込みなどで困ったときに、助人として登場します。

緩和医療科外来

緩和医療科外来 外来で積極的抗がん治療を行っている途中ですら症状が生じたとき、または、緩和ケア病棟を退院して在宅療養をしているときに、治療とケアを外来で提供します。

大切にしたい「知る権利」

「選ぶ権利」

最後に、緩和ケアを上手に受けるために知っておくべき二つのキーワード、「インフォームド・コンセント」と「リビング・ウィル」について説明します。

がんよろず相談の実際

疾病管理センター 高田 由香氏

方を使いこなすことで困難な問題乗り越えらるきつかけや

「苦痛を長引かせない」対処方法と云えるでしょう。

「どのような手段を使って相談するか…」相談の手段に

「誰に」相談するか… 大変大事な選択です。相談する相手は大きく分けて、家族や身

「何を相談するか…」病気が進むにつれて、いろいろな生活上の困難が生まれてきます。

「何を相談するか…」病気が進むにつれて、いろいろな生活上の困難が生まれてきます。

「何を相談するか…」病気が進むにつれて、いろいろな生活上の困難が生まれてきます。

「何を相談するか…」病気が進むにつれて、いろいろな生活上の困難が生まれてきます。

答えは患者さんの中の

静岡がんセンターの「よろず相談」では、多くの患者さんやご家族からの相談を受けています。私たちが大切にしているのは、その方の「力を信じる」ということです。

在宅医療/訪問看護 積極的抗がん治療の合間または終了後、自宅での療養生活を望む方への医療、ケアです。

緩和ケア病棟 がんの進行に伴って生じる体や心のさまざまなつらさを和らげるため、積極的に総合的な治療とケアを行います。

緩和ケアチーム 専門の医師や看護師、さらには心理師や薬剤師らで構成されるチームです。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。

緩和ケアを上手に受けるために 緩和ケアを最大限に和らげる治療を受ける、植物状態に陥った場合、生命維持装置を取りやめる、などを選択し明示することが出来ます。